

## 【実践報告 3】 全学入学前教育プログラム

# 平成 23 年度 明星大学「入学前教育プログラム — 保護者プログラム—」実施報告

御 厨 まり子\*

## 1. はじめに

今年度も引き続き、年内推薦系の入試で合格した入学予定者を対象として「全学入学前教育プログラム」を実施した。全学で行うプログラムは通算 4 回目となる。昨年度から入学予定者や保護者からプログラムに対する理解が得られるよう、入学予定者向けのプログラムに「スタートアップ講座」を加えて実施し、昨年度の反省や課題を改善し、「保護者ガイダンス」を今年も開催した。

保護者におけるプログラムの目的は、一言でいえば、本学における教育方針や理念等の説明、および本学における入学前教育について趣旨説明を行い、「入学前教育プログラム」に対する保護者からの支援・協力を促すことを目的としている。本来であれば、入学予定者のみに入学前教育の趣旨説明をするだけで良いことかもしれない。しかし、入学予定者も保護者も、大学に入学するまでの数ヶ月間の過ごし方に不安を持っている。このことは今回実施したアンケート結果からも確認することができた。

大学生活のスタートをスムーズに切れる準備期間として、学習習慣を継続させ、入学までの間に学習に取り組んでもらうためには、家庭での支援や見守りが大変重要である。大学の取り組む姿勢や支援体制を理解してもらうことは、入学後の不安の解消につながり、安心感をもって本学へ入学させてほしいという意図があったからである。

今回は、「保護者プログラム」についてアンケートも含め現状報告をしたい。

## 2. 保護者プログラムについて

昨年度は、10 月から 2 月までに計 6 回実施した「スタートアップ講座」であったが、今年度は、年内入試合格者全員に対して通信添削を実施させるため、年内に集約させて下記の 3 日間で実施した。

表 1 保護者ガイダンス日程と対象者

回数	日程	対象者
1	平成 23 年 11 月 20 日 (日)	AO 9 月、10 月入試合格者
2	平成 23 年 12 月 18 日 (日)	指定校推薦入試、公募制推薦、明星高校、卒業生子女
3	平成 23 年 12 月 25 日 (日)	AO 12 月入試合格者

ガイダンス内容も、昨年度の実施内容の反省および保護者からのアンケート回答を基に再考した。昨年度は初めて「保護者プログラム」を計画し、保護者に対して、学生対応部署から必要と思われる多くの内容の説明が中心であった。しかし、結果として「内容を詰め込みすぎ」、「情報が多すぎてわかりにくい」、「オープンキャンパスで聞いた情報と同じ」、「長時間過ぎる」といった意見が寄せられた。

\* 明星大学明星教育センター課長

保護者にとって、この時期に聞きたいこと、および必要なことは何かについて委員会で検討し、今年度は、「入学するまでの期間の内容」に特化させることとした。まず、「入学する大学に対する安心感」を持ってもらうこと、また「全学入学前教育プログラムの説明」を含めたプログラムに対する理解を得ることに限定した。昨年度も好評であった在学生の学生生活については、勤労奨学生として本プログラムを手伝っている学生にスピーチをさせて、在学生の声を伝えるということを行った。

主なプログラム内容

- ・ 本学の教育理念・方針について（DVD 上映と説明）
- ・ 明星大学の全学入学前教育について（プログラム趣旨説明）
- ・ 事務局からのお知らせ
- ・ 在学生からの学生生活について

### 3. 保護者プログラムの参加状況

参加者は下記表2とおおりである。昨年度とほぼ同じ参加者数であり関心があったことが伺える。

表2 保護者プログラム参加者数

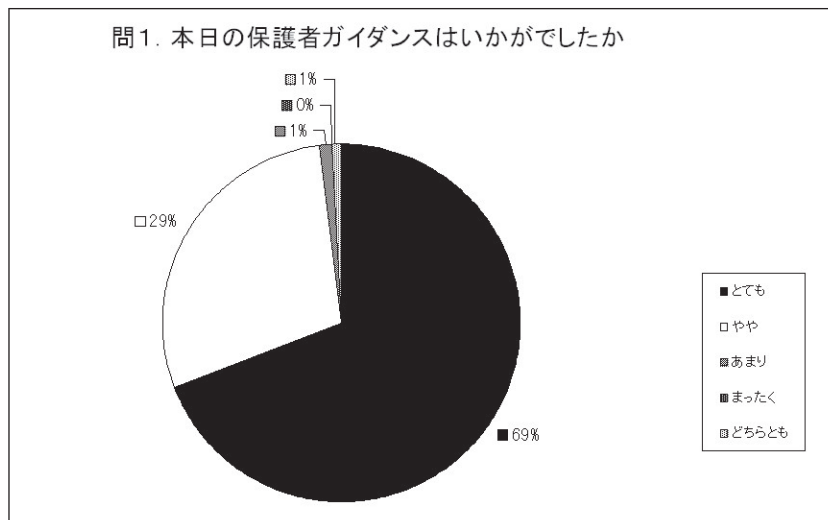
	対象者（組）	出席者	参加率（％）	（参考）昨年度参加者数
11月20日（日）	318名	245組 294名	77.0%	301名
12月18日（日）	625名	449組 564名	71.8%	587名
12月25日（日）	91名	60組 73名	65.9%	86名
合計	1,034名※	754組 931名	71.6%	974名

※明星特別推薦入試の合格者のうち併願者は入学前教育対象外（24名）

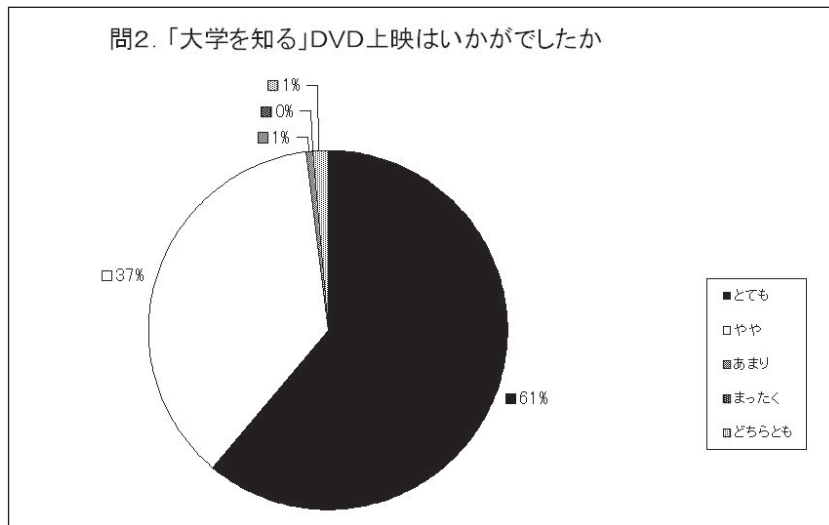
### 4. 保護者アンケート結果から

保護者向けプログラムのアンケートを実施し、552組（73.2%）の保護者から回答があった。

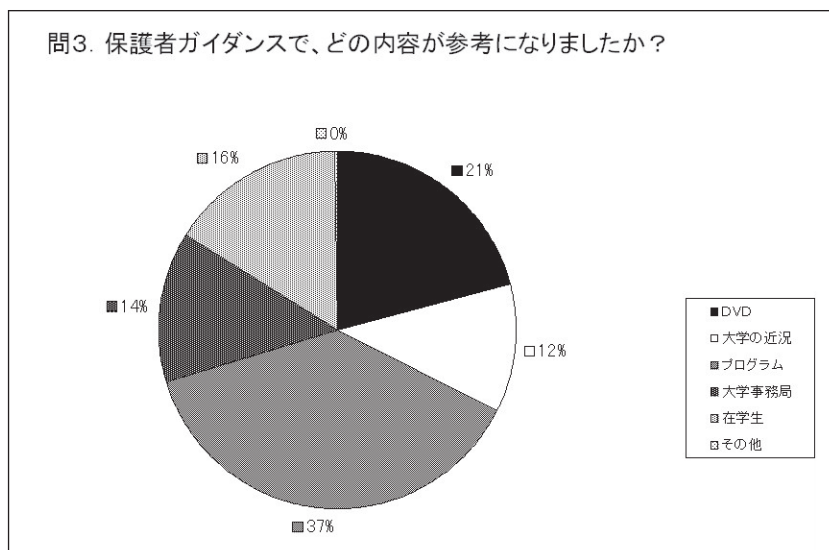
保護者ガイダンス全体についての設問（問1）では、「とてもよかった」（69%）、「ややよかった」（29%）の結果をみると、98%の保護者からプログラムに参加してよかったという回答を得られたことになる。（図1）



問 2 の明星大学における教育方針、建学の精神などの設問では、「自立と体験 1」の授業内で 1 年生全員に見せる DVD（9 分）を上映し、その後視聴覚資料を使いながら、大学の現状を 20 分間説明を明星教育センター長が実施した。保護者のアンケートから、「とても良かった」（61%）、「やや良かった」（37%）と、98%の保護者から好意的な回答結果を得られた（図 1）。回答と一緒に寄せられたコメントに、「子どもが決めてきた大学であり、よく大学の歴史等を知らなかった。教育理念や方針を知ることができて良かった」、「とても安心しました」、「映像と説明で歴史に触れられて分かりやすかった」、「歴史と理念がよくわかった」、「創設者の理念が今も引き続き受け継がれていることがわかった」等のコメントが多かった。明星大学を知ってもらう時間としては大変短い時間設定であるが、入学が確定している保護者であるということも一因かもしれないが、映像と説明によって、本学の教育方針等が具体的に伝わったのではないかと考察する。



問 3 のガイダンスの内容で一番参考になった内容についての設問では、入学予定者に実施する「全学入学前教育プログラム説明」（37%）、「大学の教育方針・DVD」（21%）、「在学生のスピーチ」（16%）という結果であった（図 3）。AO 入試で合格した入学予定者は入学まで半年近くの時間がある中で、「通信添削」、「スクーリング」、「フォローアップ講習」など実施するプログラムの説明は保護者にとって好評だった。また、保護者に理解をしてもらう大きな利点は、入学予定者に課す「入学前プログラム」を家庭でもサポートできるという点である。

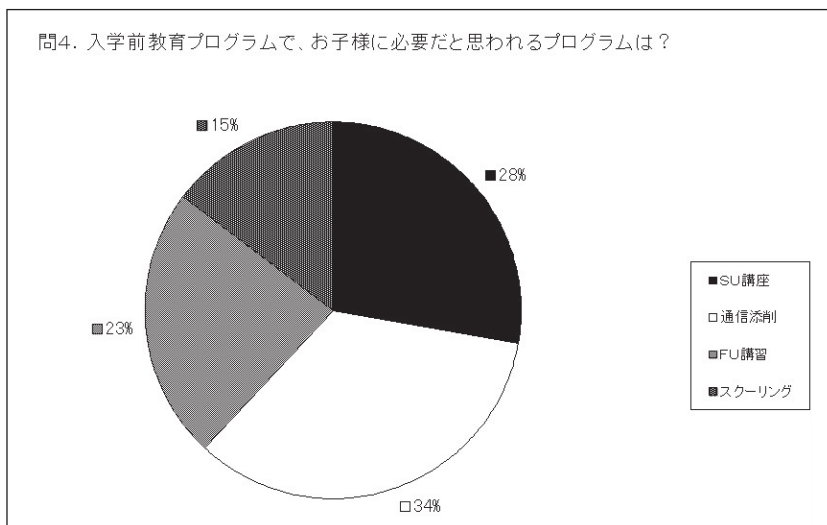




問4では、問3の中でも一番関心のあった「入学前教育プログラム」の中で、入学予定者にとって必要と思われるプログラム聞いたところ、「通信添削」(34%)、「スタートアップ講座」(28%)、「フォローアップ講習」(23%)、「スクーリング」(15%)であった(図4)。保護者のコメントでは、「通信添削」は必要だという保護者の意見として「入学後、気が緩みやすいので入学前のフォローは有り難い」、「入学前かなりの時間があるので、有意義な生活を過ごしてもらうためにも通信添削は必要」、「学力不足が心配なため」、「勉強する習慣を忘れさせないためにも良い」などがあった。

「スタートアップ講座」が必要だという保護者のコメントでは、「入学までのモチベーションを高められる気がする」「入学までに目標を持たせることも良いことだと思う」「大学生活への心構えや高校生と大学生の違いを実感させてスタートできるから」、「同じ学科の人と親しくなり、入学を楽しみに待てるから」などがあった。

「スクーリング」や「フォローアップ講習」では、「嫌いな教科や必要な教科を勉強させたい」「通学するリズムを作らせたい」「何もせずダラダラと生活しそうなので、強制的にも勉強に通わせたい」「学力不足が心配」などのコメントが寄せられた。



アンケートの結果より、「保護者プログラム実施」については、参加した保護者からは好意的な回答が得られた。大学入学が早期に決まるため、入学までの期間に実施する「入学前教育プログラム」についてかなりの期待を寄せら

れていることがわかった。入学予定者は大学合格が決まってしまうと、高校までの勉強や学習習慣の意欲を低下させ、生活習慣の乱れなどが保護者にも感じられ、不安を持つからではないだろうか。

入学予定者が合格後も学習習慣を継続し、入学までの間に有意義な時間となるようにと考えているのは保護者も大学側も同じであり、本学で実施するプログラムへの理解が得られたと実感した。

## 5. 今後の展望として

昨年度の反省も踏まえ、入学予定者の保護者へ伝えるべきことは何なのかについて議論し、ポイントを絞りガイドンスの内容を精査して組み立てたことが、今回の好評に繋がったと考えている。

推薦系の合格者が多い本学にとっては、入学前に保護者とより親密な連携をとれるような仕組みづくりをすることは、保護者が大学への理解や安心感、信頼感を得られることになる。さらに、入学予定者が4年間の大学生活を4月からスムーズにスタートできるように、保護者からもフォローするきっかけにこのプログラムがなればと考えている。但し、年内入試合格者の保護者と一般入試合格者の保護者との間に、情報に格差が生じることも事実である。情報の格差については今後検討していきたい。また、「通信添削」だけで入学予定者の学力が補填されるわけでもない。入学予定者が4月までの間に目標を見つけ、自ら学習を継続する仕組みについてもさらに検討をすすめていきたい。

